

御 挨拶

建中寺住職 村上賢瑞

残暑御見舞い申し上げます。皆様におかれましては、益々御清栄のことと、お慶び申し上げます。

今年は、例年にならない猛暑となりました。いかがお過ごしでしょうか。御体には十分お気をつけ下さい。今年は、ベルドミール葵22も完成し建中寺の教化に力を入れていきたいと思ひます。又、経藏の修理も近々始まります。ご不便をおかけすることもあろうかと思ひますが、よろしくお願ひいたします。

さて、今年もお盆の季節になりました。御先祖様に、日々無事息災に暮らしていけるのも、御先祖様のお守りの賜物と感謝して、心からの御回向いたしたいと思ひます。建中寺では、例年どおり墓経、棚経、万燈会、地藏盆など、御先祖様をお祭りして感謝申し上げる法要を致します。多くの皆様の御参詣をお待ち致しております。どうかお誘ひ合わせの上、御参詣ください。

合 掌



完成したベルドミール葵22

『釋淨土群疑論』に

説かれる

抑止門と撰取門について

建中寺副住職 村上 真瑞

浄土宗において最も根本となる經典を浄土三部經といい、法然上人が『選擇本願念佛集』の中で定義されています。この浄土三部經とは、『無量壽經』一卷・『觀無量壽經』一卷・『阿彌陀經』一卷の三部四卷の經典を指し、建中寺においても毎朝五時頃から一区切りずつ読誦しています。朝参詣されると必ず三部經を読誦する声が聞こえますから、どうか早起きされてお参りください。

さて、この三部經の中、『無量壽經』において阿彌陀如来が、覺りを開く前の法蔵菩薩と号していた時代に、師匠である世自在王如来の前に四十八の誓いを立てて、その一々の誓いをすべて成し遂げなければ、私は佛とはならないと強く宣言されたのであります。その第十八番目の誓いが「念佛往生の願」と呼ばれ、「もし私が佛と成ることができたならば、あらゆる場所にいる

生きとし生けるものが、まごころをこめて阿彌陀如来の本願を信じ極樂浄土に往生を願ひ、下は一念から上は一生涯に至るまで、念佛を称えることによって、もし極樂浄土に往生することができれば佛とはならない。ただし、人倫や仏道に逆らう五種の極惡罪と佛の教法をけなししする者を除く。」と説かれています。ここで、念佛を称える者をすべて救い取るとしながらも、極惡の罪(1)殺母(せつも)(母を殺す)、(2)殺父(せつぷ)(父を殺す)、(3)殺阿羅漢(せつあらかん)(聖者を殺す)、(4)出仏身血(しゅつぷしんけつ)(仏身を傷つけ出血させる)、(5)破和合僧(はわごうそう)(教団を破壊させる)の五つ(を)を作った者と佛の教法をけなししする者とは救いから除かれると付け加えられているところに注目したいと思います。

次に『觀無量壽經』において極樂往生する者を現世での修行や行いの階位として、上品上生(一番高い位)から下品下生(一番低い位)まで九段階に分けてそれぞれ段階の様子が詳しく説かれています。その中でも一番下位の段階の者について、「生前に積んだ功德の違い、またそれに応じて異なる浄土往生の仕方九種類の中一番下の位とは、ある人が、人倫や仏道に逆ら

う五種の極惡罪と殺生・偷盜・邪淫(身三)、妄語・綺語・惡口・両舌(口四)、貪欲・瞋恚・愚癡又は邪見(意三)の十種の惡を造り、悪いこととして造らないものはなかった(すべての惡の限りを尽くした)。すべての地獄を巡って際限なき苦しみを受けるべきものであったが、命終わるときに臨んで仏教の正しい道理を教えに導いてくれる人の勧めによってこの様に眞實の心をもって声を断絶せずに念佛を満足すれば、西方極樂浄土へ往生することができる。」と説かれています。ここでは、先ほどの『無量壽經』では救いから除かれるとした人倫や仏道に逆らう五種の極惡罪を犯した者であっても、臨終に一声の念佛でも称えるならば全て救い取られるとしているところに注目せねばなりません。

これら二經の説に違いがあることは古来より論議されていますが、特に『釋淨土群疑論』においてはそれぞれを古来の論議を含めて詳しく説いていますので、今回その部分を考察してみたいと思います。以下『釋淨土群疑論』の文章を紹介しながら解説を加えていきたいと思います。

『釋淨土群疑論』【本文】三卷一帖

問曰如无量壽經四十八弘誓言設我得佛十方衆生至心信樂欲生我國乃至十念若不生者不

取正覺唯除五逆誹謗正法

【現代語訳】

問て言つ。『無量壽經』の四十八の誓願(誓い)の中に言つように、もし私が佛と成ることができたならば、あらゆる方向の生きとし生けるものが、まごころをこめて阿弥陀如来の本願を信じ極楽浄土に往生を願ひ、下は一念から上は一生涯に至るまで、念佛を称えることによつて、もし極楽浄土に往生することができなければ佛とはならない。ただし、人倫や仏道に逆らう五種の極悪罪と佛の教法をけなしそしめる者を除く。

と説かれています。ここに出る語句を解説すると、「至心信樂」とは、まごころをこめて阿弥陀如来(あみだによらい)の本願を信じ往生を願うこと。であり、「乃至十念」とは、十遍の念佛で上は多念を収め、下は一念を収めるから乃至といつのであります。「一多包容の乃至」であります。浄土往生の行である称名の回数に制限がないことを表す語とされています。また、「五逆」とは 五逆罪 の略で、人倫や仏道に逆らう五種



五劫思惟 阿 弥 陀 佛

の極悪罪。犯せば無間(むけん)地獄に墮(お)ちるとされ、無間業(むけんごう)ともいいます。(1)殺母(せつも)(母を殺す)、(2)殺父(せつぷ)(父を殺す)、(3)殺阿羅漢(せつあらかん)(聖者を殺す)、(4)出仏身血(しゅつぷっしんけつ)(仏身を傷つけ出血させる)、(5)破和合僧(はわごうそう)(教団を破壊させる)の五つを挙げています。

『觀無量壽經』にいう。生前に積んだ功德の違ひ、またそれに応じて異なる浄土往生

【現代語訳】

の仕方九種類の中一番下の位とは、ある生きとし生けるものがいて、人倫や仏道に逆らう五種の極悪罪と殺生・偷盜・邪淫(身三)、妄語・綺語・悪口・両舌(口四)、貪欲・瞋恚・愚癡又は邪見(意三)の十種の悪を造り、悪いこととして造らないものはなかった(すべての悪の限りを尽くした)。すべての地獄を巡つて際限なき苦しみを受けるべきものであったが、命終わるときに臨んで仏教の正しい道理を教えに導いてくれる人の勧めによつてこの様に真実の心をもつて声を断絶せずに念佛を満足すれば、西方極楽浄土へ往生することができる。と説かれています。ここに出る語句を解説すると、「十悪」とは悪についての考察・整理が進むと、身(しん)・口(く)・意(い)の三つの働き(三業)さざう(い)にあてはめ、殺生・偷盜・邪淫(身三)、妄語・綺語・悪口(あつく)・両舌(口四)、貪欲(とんよく)・瞋恚(しんい)・愚癡(ぐち)(意三)の十悪が立てられました。ここで飲酒があがっていないのは、それ自体が悪(性罪)として戒められた(性戒)のではなく、過ぎるといけない(遮罪)といふことで戒められた(遮戒)からであります。口の悪が四つ立てられています。人間の交わりの道具として、ことばを重視し



平等院 飛天

たもので、最後の意三は、悪を根源的に深めていって立てられたもので、貪(とん)・瞋(じん)・癡(ち)の三毒とか三不善根と称されました。

次に善知識[s: kalyana-mitra]とは kalyanaは、美しい 善い 意の形容詞、中性名詞として 善 徳、 mitraは 友人、善き友、真の友人、仏教の正しい道理を教え、利益を与えて導いてくれる人といひます。 善友 とも漢訳されています。

【本文】三巻一帖

何意二經俱造五逆並有十念得生淨土有取有除兩文不同有何義也

【現代語訳】

(以下について)どのように思うだろうか。

(前述の『無量壽經』『觀無量壽經』の)二經はどちらも人倫や仏道に逆らう五種の極悪罪を造り、どちらも念佛を称えることによって淨土に生まれることができるということについて、『觀無量壽經』では救済されると説き、『無量壽經』では救済から除かれると説いている。『觀無量壽經』と

『無量壽經』との二文に銚楯があるがそれにはどのような意味があるのであろうか。

【本文】三巻一帖

釋曰古今大德釋此兩經有十五家共解此教一

觀經取者是懺悔人壽經除者是不懺悔人二觀經取者是輕心造逆人壽經除者是重心造逆人

【現代語訳】

解釋して言う。むかしから今に至るまでの徳高き僧等が、この『觀無量壽經』『無量壽經』の銚楯を解釈するのに、十五人の学者によって皆でこの教説が解釈された。第一には『觀無量壽經』で救済される者は罪を告白して許しを乞う人である、『無量壽經』で救済から除外されるのは罪を告白して許しを乞うことをしない人である。二には『觀無量壽經』で救済される者は罪の重大さを知らず軽はずみな心で人倫や仏道に逆らう五種の極悪罪を造る人である。『無量壽經』で救済から除外されるのは罪の重大さを認識していたにもかかわらず敢えて人倫や仏道に逆らう五種の極悪罪を造る人である。

と説かれています。ここに出る語句を解説すると、「懺悔」とは 悔過(けか)ともいい、自ら犯した罪過を仏や比丘の前に告白して忍容を乞う行儀、懺悔 または 悔過 と漢訳されたサンスクリット原語



平等院 飛天

は種々あ離ます。中国仏教では、忍んで許してくれるようごう意の 懺摩(さんま)(ksama)と、過去の罪過を追悔する意の 悔 との合成語とされています。律(りつ)では満月と新月の説戒に、夏安居(げあんご)の終了日に、戒本を誦し、違反した罪を1人(対首懺)ないし四人(衆法懺)の大僧に告白した行儀で、(他に対して告白する)と称しました。阿含経では釈尊に罪を告白して許しを願った例が多く、大乘仏教では十方仏や諸仏を礼して身(しん)

口(く)意(い)三業(さんごう)の罪やあらゆる罪過を発露(ほつろ)し懺悔する行儀となり、中国ではこれが特定の儀礼となつて懺法(せんぽう)の儀則が成立しました。また浄土教の善導は、毛孔や眼から血の出る上品(じょうぼん)から涙を出す下品(げぼん)までの三懺悔を述べますが、後に中国・日本では懺悔の行儀は次第に儀礼化するに至りました。

第一の懺悔不懺悔の説は、道忠『釋淨土群疑論探要記』六によると、新羅浄土教の

祖師元曉の説であります。『兩卷無量壽經宗要』には

【本文】『浄土宗全書』五卷八四頁A

彼觀經中不除五逆唯除誹謗方等之罪。今此兩卷經中說言除其五逆誹謗正法。如是相違云何通者、彼經說其雖作五逆依大乘教得懺悔者。此經中說不懺悔者由此義故不相違也。

【書き下し】

彼の觀經の中には五逆を除かず。唯だ方等を誹謗するの罪を除く。今此の兩卷經の中には説て其の五逆と誹謗正法とを除くと言ふ。是の如くの相違、云何が通ず、彼の經其の五逆を作すと雖も大乘の教に依て懺悔を得る者を説く。此の經の中には懺悔せざる者を説く。此の義に由ての故に相違せざる也。

【現代語訳】

彼の『觀無量壽經』の中には人倫や仏道に逆らう五種の極悪罪を救済から除いていない。唯だ大乘經典をけなしそしる罪だけを救済から除いている。今此の『無量壽經』の中には五逆と大乘經典をけなしそしる罪との両方を救済から除くと説いている。この様な違いは、どのように融通性のある統一的な解釈を行うことができるのか。『觀無量壽經』では、たとひ人倫や仏道に逆らう五種の極悪罪を作るとしても、大乘の教

に依て過去の罪過を追悔することができ
る者を説いている。『無量壽經』の中
には過去の罪過を追悔しない者を説い
ている。この様な理由によつて相違を
解消することができる。

と説かれるように懺悔の有無によつて
救済から除外されるか否かを述べてい
ます。

【本文】三巻一帖一帖

三觀經取者唯是造五逆人壽經除者
是造五逆及謗法人四觀經取者
是造逆類人壽經除者正五逆人
五觀經取者
是發菩提心人壽經除者
是不發菩提心人

【現代語訳】

三には『觀無量壽經』において救済
されるのは、ただ人倫や仏道に逆ら
う五種の極悪罪だけを作る人である。
『無量壽經』において救済から除外さ
れるのは、人倫や仏道に逆らう五種
の極悪罪と及び仏教をそしめる事の
両方を犯す人である。四には『觀無
量壽經』において救済されるのは、人
倫や仏道に逆らう五種の極悪罪に類
する罪を造る人で



平等院 阿 弥 陀 佛

ある。『無量壽經』において救済から
除外されるのは、間違いなく人倫や
仏道に逆らう五種の極悪罪を造る人
である。五には『觀無量壽經』にお
いて救済されるのは、悟りを得たい
と願う心をおこした人である。『無
量壽經』において救済から除外され
るのは、悟りを得たいと願う心をお
こさない人である。

と説かれています。ここに出る語句を
解説すると、「菩提心」(s. bodhi.citta)と
は「道心 道意 道念 覚意」ともい
います。無上道心 無上道意 の訳語
もあ

ます。悟り(菩提)を求める心、悟り
を得たいと願う心などの意味で、一
般に阿耨多羅三藐三菩提心(あのく
たらさんみやくさんぼだいしん)の
略語といいますが、それに相当する
サンスクリット語の単語はなく、
阿耨多羅三藐三菩提(完全な悟り)
へ向けて心を発すという形で用いら
れるのが普通であります。菩提心
(ボーディッツ)は大乗仏教特有の
用語で、特に利他を強調した求道
心をいいます。菩提心は大乗仏教
の菩薩(ぼさつ)の唯一の心で、一
切の誓願を達成させる威神力(い
じんりき)を持つと考えられました。
密教ではすべての美德の成立する
根本心としました。第三の唯五逆
と兼謗法の説は、曇鸞大師の説であ
ります。『無量壽經論註』上巻に
は

【本文】『浄土宗全書』一巻二三
五頁B

問曰無量壽經言願往生者皆得往
生、唯除五逆誹謗正法。觀無量
壽經言作五逆十惡具諸不善亦得
往生。此二經云何會。

【書き下し】

問て曰く。無量壽經には往生を願
するは皆往生することを得、唯だ
五逆と正法を誹謗するとをは除く
と言ひ、觀無量壽經には五逆十
惡を作り諸の不善を具するも亦た
往生を得と言へり。此の二經云何
が會せん。

【現代語訳】

問て言う。『無量壽經』には往生を願う者は皆往生することができ、ただし人倫や仏道に逆らう五種の極悪罪と及び仏教をそしめる事とは救済から除かれると説き、『觀無量壽經』には人倫や仏道に逆らう五種の極悪罪又は、殺生・偷盜・邪淫(身三)・妄語・綺語・悪口(あつく)・両舌(口四)・貪欲(とんよく)・瞋恚(しんい)・愚癡(ぐち)(意三)の十の悪行を作し様々な不善を行ったとしても、また往生することができる」と説かれる。この二つの經典をどのように融通性のある統一的な解釈を行うべきであろうか。

と説かれるように『無量壽經』と『觀無量壽經』との銜楯をいかに解消するのかがという疑問を呈しています。続いて

【本文】『浄土宗全書』一巻二三五頁B

答曰。一經以具二種重罪、一者五逆二者誹謗正法以此二種罪故所以、不得往生。一經但言作十惡五逆等罪、不言誹謗正法以不誹謗正法故、是故得生。

【書き下し】

答て曰く。一經はこれ二種の重罪を具す。一には五逆、二には誹謗正法なり。此の二種の罪を以ての故に所以に往生を得ず。一經は但だ十惡五逆等の罪を作ると言て、正

法を誹謗すると言はず、正法を謗せざるを以の故に。是の故に生ずることを得。

【現代語訳】

答て言う。『無量壽經』は二種の重罪をどちらも具えている。一には人倫や仏道に逆らう五種の極悪罪、二には仏教をそしめる罪である。この二種の罪を犯したという理由によつて極樂浄土に往生することはできない。『觀無量壽經』はただ殺生・偷盜・邪淫(身三)、妄語・綺語・悪口(あつく)・両舌(口四)、貪欲(とんよく)・瞋恚(しんい)・愚癡(ぐち)(意三)の十の悪行及び人倫や仏道に逆らう五種の極悪罪を作ると説いて、仏教をそしると説いていない。佛教を謗ることがないという理由によつて、極樂浄土に生まれることができるのである。

と説かれるように、『無量壽經』では人倫や仏道に逆らう五種の極悪罪と、仏教をそしめる罪の二つの重罪を兼ね備えているが、『觀無量壽經』では殺生・偷盜・邪淫(身三)、妄語・綺語・悪口(あつく)・両舌(口四)、貪欲(とんよく)・瞋恚(しんい)・愚癡(ぐち)(意三)の十の悪行及び人倫や仏道に逆らう五種の極悪罪だけを上げているので、二種の重罪は念佛しても救われないが、十惡五逆だけならば救われ

るといふ論を展開しています。

【本文】三卷二帖

六觀經取者至誠念阿彌陀佛人壽經除者是不至誠念阿彌陀佛人七觀經取者至十信菩薩人壽經除者非十信菩薩人八觀經取者非闍提人壽經除者闍提人

【現代語訳】

六には『觀無量壽經』において救済されるのは、誠実に阿彌陀佛の名號を称える人である。『無量壽經』において救済から除外されるのは、誠実に阿彌陀佛名號を称えない人である。七には『觀無量壽經』において救済されるのは、菩薩が修行すべき五十二段階のうち、最初の十の段階の人である。『無量壽經』において救済から除外されるのは、菩薩が修行すべき五十二段階のうち、最初の十の段階に入らない人である。八には『觀無量壽經』において救済されるのは、善根を断じていて救われる見込みのない者ではない人である。『無量壽經』において救済から除外されるのは、善根を断じていて救われる見込みのない人である。と説かれています。ここに出る語句を解説すると、「闍提」とはcāntikaの音写で、断善根・信不具足と漢訳します。善根を断じていて救われる見込みのない者。成仏しえない者。どんなに修行しても絶対にさるとこ

とのできない者。通俗語源解釈によると、欲求しつづめる人、(iconic)の意でインドの快樂主義者や現世主義者をさすといいますが、佛教では佛教の正しい法を信ぜず、さとりを求める心がなく、成佛の素質、縁を欠く者をいいます。世俗的快樂だけを希求している人。また仏教の教義を誹謗し、救われる望みのない人。これに、正法をそしって容易に成仏しないが、最後の時に成仏する者と、菩薩が慈悲心から人々をことごとく成仏させてから、自ら成仏すると誓うが、人々はほとんど無限に生まれるから、ついに成仏の時期のない者、さらに全く成仏の素質のない者などがあります。この後者の存在を認めるのが法相宗で、それに反対して一切皆成仏の説をとったのが天台・華嚴その他大乘諸宗であり、両者の間に行われた、一闡提が成仏するか否かの論争は、中国・日本を通じて佛性論の大きな問題となりました。

以上今回は十五説の中、第八までの解説に止めたいと思います。紙面の都合上第九以降は次回の譲りたいと思います。

建中寺だより

五月八日 お釈迦様のはなまつり 釈尊降誕の掛け軸をかけ幼稚園児がクッキーをお供えし、甘茶をかけてお釈迦様のお誕生をお祝いしました。

五月九日 ベルドミール墓22上模式

五月十二日 国風音楽会法要。

五月十七日 東区遺族会主催 戦没者慰霊法要厳修



石 崎 共 美 先生

五月十七日 建中寺幼稚園春の遠足。バス十台を連ねて雨のためトルワールドへ出かけました。親子で楽しい一日を過ごしました。

五月二十二日 大本山鎌倉光明寺 宮林昭彦台下晋山式 当山住職参列。

五月二十八日 お不動様春の大祭 祈禱師春田玄雄上人。天候に恵まれ約八十名の参詣をいただきました。大変熱気に包まれて護摩焚きが行われました。

五月三十日 建中寺幼稚園母の会総会、慈

教会総会。記念講演に石崎共美先生をお招きして、「子供の成長は心と体」という講題でお話しをいただきました。大変有意義なお話でした。約百名出席。

六月八日 養徳院住職 阿部徳音上人 大畑志乃 両家結婚式及び披露宴挙行。媒酌人は副住職夫妻。当山住職 副住職 参列

六月九日 愛知時計物故者法要。

六月十日 徳川義宣様参詣。五郎太様一周忌法要厳修。

六月十五日 尾張教区吉水講議員講習会 講師松涛基道先生。

建中寺幼稚園、父の日参観日小運動会。楽しい運動会が挙行できました。普段忙しくて一緒に遊ぶことが少ないお父さん

と、園庭で遊んだり、ダンスをしたり、部屋の中でゲームをしたり歌を歌ったり楽しい一時を過ごしました。

六月十七日 東海三十六不動霊場会総会。

豊川閣 妙巖寺にて開催。当山住職参列。

六月十九日 山本 茂 先生 御葬儀。大

変お世話になった山本内科の茂先生がご

逝去されました。心よりご冥福をお祈り

いたします。

六月二十二日 徳興会総会。講師 三河教

区栖了院 天野 信浩 上人説教。副会

長に山本早太氏就任。

七月六日 尾張教区吉水講師員検定試験。

七月九日 仏教振興協会 総会 於建中寺

書院。

七月二十三日 施餓鬼会大法要。説教は、

長野教区教化団長 伊東 靖順 上人。

塔婆廻向 滋賀教区 増田 啓里 上

人。施餓鬼会とは、如来の大悲によって、

修道の障害をする餓鬼に飲食をほどこす

法会であります。いつの時代からか、孟

蘭盆会の前後にこれを行ない、その善根

功德によって三界万霊有縁無縁の亡霊の

得脱さらには、志す精霊の追善に資する

法会となりました。

七月二十七日 故齋藤 榮 様 ご葬儀

八事興正寺 光明殿 当山住職導師。



七月二十九日 建中寺責任役員会 建中学
園理事会 開催。

七月三十日三十一日 全国佛教保育千葉大

会・東海北陸地区幼児教育研修会 建中

寺幼稚園教職員参加。

八月二日 ベルドミール葵22 引渡式

八月五日 万燈会準備委員会

八月九日 午前八時〜十一時、墓経。平和

公園の建中寺墓地にて御先祖様の墓経を

勤めます。檀家の方で建中寺墓地にお墓

をお持ちの方は、必ずお参り下さい。

八月十三日頃から十五日頃まで、棚経。檀

家様のお棚参りを致します。なお、詳し

い日時については、ご案内を差し上げま

すのでご覧ください。

八月十三日 午後五時より七時まで。盆の

お迎え火。建中寺から提灯に火をともし

御先祖様をお内の仏壇へとお迎え致しま

す。

八月十五日 午後七時より九時まで。建中

寺万燈供養大法要。お盆の間お家にかえ

つてこられた御先祖様を、また極楽へお

送り致します。提灯に仏壇の火を移し、

建中寺の御本尊様の下へお送り致しま

す。提灯一個千五百円、虫封じ一個八百

円です。本堂にて特別施餓鬼廻向をうけ

たまわります。御希望の方は御自由にお

申し込み下さい。一霊一万円です。

八月二十四日 地藏盆。建中寺幼稚園主催の地藏盆を致します。小さなお子様は、多数ご参加いただき、盆踊りや花火をお楽しみ下さい。

九月二十三日 秋の彼岸法要。お彼岸にあたり、御先祖様の御回向を致します。皆様おさそいあわせの上お参り下さい。

幼稚園だより

東海北陸研修に参加して

園主任・年長主任教諭 熊澤 敦子

幼稚園の夏休みを利用して、7月30日、31日の2日間、東海北陸地区教育研究静岡大会に参加させていただきました。

一日目、開会式に引き続き、「21世紀の幼児教育像」というテーマで基調講演がありました。講師の先生は、全日本私立幼稚園連合会副会長であり京都の光明幼稚園園長をされている田中雅道先生でした。先生は、

子育てというのは家庭の役割であると考え、それを公の立場からどうサポートしていったらいいのか、日本国内のみならず、ヨーロッパの国々を視察した時の話を混じえてお話しされました。

イギリスでは、3才児の教育の充実に国をあげて取り組んでいるそうです。実際に、



3、4才児の保育料を一日25時間分は無料にしているそうです。ですがそこから先にかかる様々な園内での教室(おけいここと)等、平均していけば日本の子ども一人にかかる教育費とかわらない、もしくはそれ以上のお金がかかっているそうです。

ドイツでは、子どもは生活の中で学ぶもの、3・4・5才という学年で分けるのはおかしいのではないかと考えがあるそうです。これは小学校教育にもつながっており、ドイツでは異年令での学習が4年生まで行われているそうです。確かに低学年の間は、月齢によって、4月生まれと3月生まれには身体的にも、学習面においても差があります。それをひとまとめにしてもいいのではないかというのがドイツの考え方だと思いました。幼稚園では、3才から5才までは同じ先生が担任をするそうです。これは、子どもは大家族の中で育つものという認識から園における母親的存在を子どもにとつてよりわかりやすくしていくためなのだと思います。ドイツのこの学年で分けない考えは、日本人にはなじまないという先生は言われました。このなじまない、という言葉が本当にピッタリ当てはまり、色々な国の文化や歴史を背景に教育の方針も様々あって当たり前なのだと感じま



した。
又、先生は飛び級制度の落とし穴についても話されました。アメリカの大学では飛び級制度が取り入れられていますが、アメ

リカ人はそれを利用していません。利用しているのは、日本・韓国・シンガポール等のアジア系の国々だそうです。実際に、14才でハーバード大学に合格した韓国人の子がいたそうです。この時、14才で入ることが素晴らしいと評価されましたが、いざハーバード大学に入ってみれば、他の人と皆同じであり、それは14才だったから素晴らしいことなだけです。14才の子は精神的に弱ってしまいその後心のケアを受け、今は立ち直ったとのことでした。このことから、

じっくり育てること、この意味を考
えたい、と先生は言われました。先生
のこの言葉が21世紀の教育像にな
がってくるのでは、と感じました。
あせらずじっくり心身が共に育つ環
境を大切にしていきたいと改めて感
じました。

2日目は、各分科会にわかれて研修
を行いました。私は、「幼稚園におけ
る個と集団について考える」という分
科会に参加しました。このテーマは、
日々の保育の中で常に頭の中にあるこ
とで、様々な意見を聞き自分の視野を
広げたいと思い選びました。

主題設定の理由

一人ひとりの幼児の発達は、同年代の幼
児と教師がともに生活する中で促され、多
様な個性の幼児同士が良い刺激を受け合
い、お互いに影響しながら育ちあう。この
ような育ちあいがなされるためには、その
集団が一人ひとりの幼児にとって、安心し
て十分に自己を発揮できる場になっている
ことがたいせつである。

また、一人ひとりと集団の関係では、一
人ひとりが育てば集団も育ち、集団が育て
ば個もさらに伸びるという相互性を持つ。
そのため、教師は、教師と幼児、幼児同士
の心のつながりがある、温かい集団を育て
ることが望まれる。

そこで、幼児一人ひとりの良さが生かさ
れる学級集団のあり方について、また教師
に求められる役割や専門性について考え
る。

以上の主題設定の理由を基に、長野県と
岐阜県の2つの幼稚園から具体的な役割で
の事例の発表があり、2人の講師の先生か
ら助言の言葉がありました。

どちらの園も、はじめに園の説明ととも
に入園前に子どもとのかかわりが少ない子
が多いとの話がありました。これは建中寺
幼稚園でも同じことが言えると思い、全国

的に子どもをとり巻く環境の枠が小さくなっていると思いました。又、母親たちが精神的プレッシャーを背負い、その関心が子どもにも集中しがちになる状況があり、園生活において、「個」を出しすぎ、「集団」になじめない子どもの姿が多くみられ、過保護が子ども主導の生活を生み出しているとの話もありました。

具体的な事例は、学年ごとにあがりました。3才児ではまず友達と一緒に遊ぶことが楽しいな、と思えること4才児では、遊びの中で友達と出会うていく子ども達、5才児では、子ども達が築いていく仲間関係という主題の内容でした。今回は現在私が担任をしているということで、5才児の事例を紹介することにします。

Sという男の子に焦点をあてて仲間関係を探っていきます。4月、クラス替えをしたばかりでSは年中の頃仲良かったKの姿を追って遊んでいる。5月、Sは友達と遊びたい、自分を認めてもらいたい、と思いつつも、自分の思いのままに行動する姿が出てきました。「Sが〜した!」との不満が高まっていく。ここまでで、Sという子どものクラス内での様子がわかると思いますが。教師は、Sの悪い面ばかりが強調されてしまうことを恐れ、違った一面も皆に



伝えていけるよう心がけます。8月、9月には、仲良くなったEをめぐってトラブルが起こります。SはEと遊びたくて強引につめよるところがありました。それまであまりEは自分の意志を伝えようとはしませ

んでしたがある日爆発し、「どうしておれっぱりいじめるんだよ!おれは嫌なんだよ!おまえとは遊ばなくなるぞ!」と泣き叫びました。Sは驚き、以後Eの嫌がる事はしなくなりました。この事例の考察として、自分の気持ちを強く主張するSは、その行動を友だちに責められることが多かったが、Sにとって「友だちから認められる」「受け入れられている」という経験が大きな喜びとなり、友だちの存在がより大きなものになっていった。始めはSとのトラブルを教師にたよって解決しようとしていた友だちも、Sに自分の気持ちを伝えられる様になり、Sとの関わりの中でSの様々な面を認める姿が見られるようになってきた。教師は、まず子どものありのままの姿を受け止めた上で、その子にとって何が大切かをみとり、援助したい。とのことでした。この研究のまとめとして次のことがあがりました。子ども達は新しい環境の中で不安や緊張もあるが、教師が子どもに寄り添い、気持を受け止めることにより、安心して園生活をスタートできる。生活習慣の自立、夢中になって遊ぶ、を楽しくかつた。が「〜ができるようになった」という満足感等、個が充実することで、仲間に対しても意欲的に関われるようになる。始めは、

自己主張が強く相手を受け入れられなかったり、自分を出せなかつたりするが、試行錯誤を繰り返しながら、友だちと一緒にいること“友達と遊ぶこと”友だちと共感しあえること“の喜びや楽しさを実感していく。それがエネルギーとなつてより一層友だちとの関わりが深まる。時には衝突もしたり、自分を受け入れてもらつたり、相手を受け入れたりする経験を積み重ねながら、お互いを認め合える仲間関係が育っていく。仲間が育っていく上で、充実した遊びの展開（それが保障される環境（時間、空間、素材等）適切な教師の援助や様々な働きかけ 家庭との密な連絡等が重要である。

助言者の先生からは、集団をどうとらえるかが大切であるとお話がありました。園内生活における集団というとすぐに思い浮かべるのはクラスの中でみんなで歌をうたつたり、かけっこをしたり、とみんなの集まりと考へがちです。幼児教育の中では集団を子ども達の群れと考へたい、10人、5人でも子どもが集まればそれを集団と考へたい。幼児の生活で集団を育てることが難しいので、みんなと一緒にいることが楽しいという気持ちの芽生えが大切である。その芽生えがやがて小学校へ上がり思春期を迎え

様々なハードルを自分の力で乗り越えていくためには必要なのだと言われました。

私は、一つの集団という枠の中に子ども達一人ひとりをはめこんでいくようなことはしたくないと考へていました。ですからこの助言者の先生のお話には何度もうんうんとうなづきながら聞くことができました。集団に子どもを引き入れていくのではなく、この集団にかかわりたいな、と思えるような心の芽生えを大切にしたいと思えます。そのためには、私自身がもっと幅広い価値観を持ち、子ども達と向きあつていくことが必要だと感じました。

今年の園児募集は、 9月2日案内願書配布

10月1日願書受付です。お近くのお子さん
(3才、4才)にお勧め下さい。
お問い合わせは 建中寺幼稚園
TEL 935 - 2172までよろしくお願ひします。

建 中 寺 新 聞

第四六巻 第三号

平成十四年八月

発行責任者 村上賢瑞

編集責任者 村上真瑞

発行所 名古屋市東区筒井二丁目七十五七

建 中 寺 寺 務 所